

九寨溝&四川省

観光再開後の目玉は「神話の世界」 山深い峡谷に眠る九寨溝の尽きない魅力

日本市場の展開は四川省を軸に

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、各国が水際対策の
入国制限措置を講じる中、日本
からの中国旅行も困難な状態が
続いています。中国駐東京観光
代表処の王偉首席代表は、「中国
観光の再開に向けて、手つかずの
自然が残る秘境として有名な九
寨溝の魅力を変えてアピールして
いきたい」と語り、九寨溝のある
四川省全体を中国観光再開後の



何千年もの歳月が育んだ美しい湖沼が連なる九寨溝

軸として、日本市場での展開を
図る方針を示しています。

四川省では、湖北省・武漢で新
型コロナウイルスの感染が発生し
た直後から、湖北省に1400
人を超える医療従事者を派遣す
るとともに、四川省内での感染
拡大の抑制にも成果を残してき
ました。

3月末には、感染者の急減を
踏まえてジムやインターネットカ
フェの再開が許可されるなど、中
国国内でもいち早く市民生活の



小池が連のように並ぶ黄龍は「この世の仙境」と称えられます

正常化を実現。4月に中国から
イタリアへ派遣された新型コロナ
ウイルス感染症対策専門家チ
ームも、メンバーの大半が四川省の
医療関係者で占められるなど、四
川省は新型コロナウイルスへの対
応では際立った動きを示していま
す。

王首席代表は、「中国国内でも
感染拡大の抑制に成功した四川
省が高く評価されており、現在
も落ち着いた状態が続いていま
ことから、中国観光が再開された後
も安心して日本の皆さんに旅行
していただけたらと思う」と強調し
ています。

「三密」回避に相応しい自然遺産

四川省北部の山深い峡谷に位
置する九寨溝は、原生林の中にY
字型の谷が3つあり、谷に沿って
大小100を超える湖が点在し
ています。

その驚くべき水の透明度は、岩
に含まれるカルシウムの作用によ
るものと言われており、鏡のよう
に光を反射して輝く水面の美し
さは息を呑むばかりで、「神話の



初来日から半世紀を経て中日交流の象徴であり続ける
パンダ

世界」と形容されるほどです。

1992年に世界自然遺産に
登録され、日本でも中国におけ
る絶景スポットの一つとして根強
い人気を維持してきましたが、
2017年8月に四川省で発生
した大地震により湖岸が決壊し
て湖水がほとんどなくなるケー
スも出るなど、その美しい景観も大
きなダメージを受けました。

王首席代表によると、「山が崩
れた場所もあったため、安全確保
を図る必要から大規模な修復工
事が行われ、大地震から約1年
後の2018年夏には、1日当た
り2000人という制限付きな
がら入域も再開されていた」もの
の、今回の新型コロナウイルスの感



中国四大仏教聖地と中国三大霊山の一つに数えられる「峨眉山」



弥勒菩薩を模った世界最大の石刻大仏である「樂山大仏」

染拡大により、再び、訪れることができなくなっています。

王首席代表は、「中国でも『三密』の回避が厳しく取り締まられており、自然の中にあつて入域の人数制限も伴う九寨溝こそ、中国観光再開の目玉として最も相応しい存在」と指摘しています。

交流の象徴であるパンダに注目

今年3月、新型コロナウイルス感染症対策の支援物資として、四川省から和歌山県に1万枚のマスクが届けられ、「守望相助、風雨同舟（互いに見守り助け合い、共に困難を乗り越えよう）」というメッセージも添えられています。

四川省と和歌山県が交流を深める契機となったパンダも、中国観光再開後における四川省のアイコンとして注目される存在です。

四川省の省都である成都の近郊に位置する「成都ジャイアントパンダ繁殖研究基地」は、パンダの人工繁殖や野生化訓練などを行っており、教育観光やパンダ文化の普及も図る研究機関で、野生化訓練を受けるパンダを見学することもできます。

王首席代表は、「中日交流のシンボルでもあるパンダを見ていただき、中国観光の再開を実感してもらえる日が1日も早く来ることを祈るばかりだ」と語っています。

ます。

人気の「四川フェス」はオンラインで

日本市場で中国本国からのプロモーション活動が行えない状況が続く中、今年10月には本場の四川料理をオンラインで体験してもらおうという「四川フェス2020」の開催が計画されています。

「四川フェス」は四川フェス実行委員会と中国駐東京観光代表処の共催によって2017年から東京・西新宿の新宿中央公園で開催されてきており、毎年、数万人規模の来場者を集める人気イベントとして注目されてきました。

今年も、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、オンラインで開催されることになり、首都圏の20〜30店舗が出店した昨年の規模を上回る全国100店舗を集めて、テイクアウトやEC販売を通じて四川料理を楽しんでも

らう予定です。

また、ステージイベントに代わって、スタジオからトークと料理を配信して、より豊富なコンテンツによるエンターテインメントも展開されることとなります。

王首席代表は、「日本からの中国旅行の機運醸成に向けて、イベントを盛り上げていきたい」と意欲を示しています。



麻辣（マラー）の醍醐味を象徴する麻婆豆腐



四川料理ファンの注目と期待を集める「四川フェス」